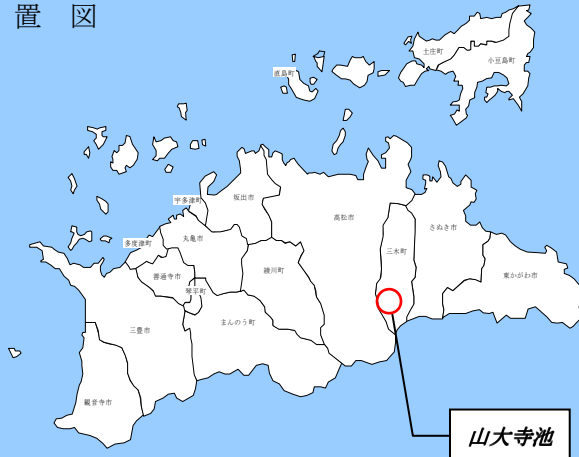


山大寺池 (やまだいじいけ)

～嶽山を映す池～

位置図



諸元

| | |
|------|---------------------|
| 貯水量 | 373 千m ³ |
| 満水面積 | 11.8 ha |
| 集水面積 | 155 ha |
| 受益面積 | 92.75 ha |
| 堤高 | 12.1 m |
| 堤長 | 360 m |

三木町有数の大池である山大寺池は、寛永5年(1628年)に完成しました。

寛永3年、異常気象による大洪水が起こり、^{でみずいけ}出水池など、多くの池や川の堤防が切れ、困窮した農民たちが、藩に再三再四、修復を願い出たところ、派遣されたのが西島八兵衛^{だけやま}でした。八兵衛は嶽山にのぼり地形を展望調査した結果、出水池を捨て、この地に新たな大池を築くことにしました。こうして築造されたのが山大寺池です。

この池の名は、室町時代に、この地に「山大寺」という寺があったことに由来しています。

山大寺池は大池であっても土砂がたまりやすく、また、かんがい面積が広過ぎたために、水が常に不足していました。さらに日照りともなれば、水不足は深刻となり、水争いが絶えませんでした。

現在では香川用水の通水によって水の悩みが解消し、昭和60年度から平成2年度にかけて全面改修された池のほとりに、三木町総合運動公園や太古の森が整備され、多面的機能をもった水辺空間が地域に愛されています。

水の神、「竜神」を祭る嶽山の影を、しずかに池面にたたえる山大寺池は、昭和43年(1968年)、「新さぬき百景」の一つに指定され、四季折々に美しい姿を見せています。



嶽山を映す山大寺池



地域住民による管理